

平成 15 年 12 月 15 日
石油資源開発株式会社
代表取締役社長 棚橋 祐治
(コード番号：1662)
問合せ先：総務部広報グループ長 下村 恒一
(電話：03-5461-7413)

秋田県の試掘井で原油産出の成功のお知らせ

当社は、秋田県南部の由利原油ガス田および鮎川油ガス田に隣接する「中鮎川構造」に掘削した試掘井「中鮎川SK - 1D号井」で産出テストを行った結果、日産量 94.4 キロリットル(kl)の原油と日産量 16,500 立方メートル(m³)の天然ガスの産出に成功しました。

試掘井「中鮎川SK - 1D号井」は、平成 15 年 10 月 24 日に掘削を開始し深度 2,401mまで掘削した後、11 月下旬から産出テストを実施し、主目的層である西黒沢期緑色凝灰岩(テスト深度：1,672m-1,845m)から原油および天然ガスの産出が確認されました。

埋蔵量については、今回の生産テストの結果および今後の評価作業に基づいて算定することとなります。今後は、この評価作業と並行して、周辺の有望と思われる構造への試掘も含めて探鉱作業を継続して行く予定です。

【中鮎川SK - 1D号井の概要】

1. 試掘場所： 秋田県由利郡由利町西沢堰口字切山 56 番地
(秋田県本荘市の南方約 10km)
2. テスト対象層： 西黒沢期緑色凝灰岩
3. 生産テスト結果： テスト深度 1,672m-1,845m
日産量 原油 94.4 kl/D、天然ガス 16,500m³/D
4. 試掘井位置図： 別紙参照

以上

試掘井「中鮎川SK-1D号井」位置図

